

今後の方向性

令和6年9月5日（木）

木曾川中流域観光振興協議会

ドイツ視察報告を受けて

< 課題（ハード面） >

1. 木曾川両岸をまたぐ、
木曾川ならではの川下りの復活
2. 木曾川沿岸の拠点化
樹木や花など、緑化により四季を通じて自然と
集客につながる拠点の整備
3. 清流、里山、温泉、緑など、
クアオルトの視点を取り入れたまちづくり

ドイツ視察報告を受けて

< 課題（ソフト面） >

1. 賑わいを作り出す四季に応じたイベント（River to Summit）の開催
2. 視察で訪れたコブレンツ市、バートナウハイム等との交流協定締結を目的とした、ゆるやかな交流の開始・継続

ドイツ視察報告を受けて

< 課題（体制整備） >

1. 構成市町自らによる、地域が持続し続けるための、DMO、DMC等の地域経営体制づくりと、実行に向けた計画作りへの着手

今後の向かうべき取組みの方向性

- 木曾川ならではの川下りの復活と、
木曾川兩岸の景観と集客につながる拠点の整備
- 四季を通じた賑わいづくりに向けた、構成市町自らによる
地域経営体制づくりと、実行に向けた計画作り
- 先進地域との交流協定締結を目的とした、
ゆるやかな交流の開始